



研究部会報告

●都市のOR●

・第1回

日 時：平成9年6月27日(金) 15:00~17:30

出席者：22名

場 所：筑波大学工学棟3 F1136

テーマと講師：

「立地論に関する最近の話題」

ドミニク・ペータース(ルーバン・カトリック大学)

「移動距離からみた都市空間の分析」

腰塚武志(筑波大学社会工学系)

・第2回

日 時：平成9年9月26日(金) 15:00~18:00

出席者：20名

場 所：筑波大学工学棟3 F1136

テーマと講師：

「交通路面積を考慮した配分問題」

田口 東(中央大学)

「平面上で発生する移動を考慮した交通網の評価」

三浦英俊(日本学術振興会特別研究員)

・第3回

日 時：平成9年11月21日(金) 15:00~18:00

出席者：18名

場 所：筑波大学工学棟3 F1136

テーマと講師：

「道路延長の推定と理工学基礎実験」

栗田 治(慶応義塾大学)

「携帯電話の「かけ逃げ」を察知する試み」

西野嘉彦(浜銀総合研究所)

・第4回

日 時：平成10年1月30日(金) 15:00~18:00

出席者：18名

場 所：筑波大学工学棟3 F224

テーマと講師：

「ミニマム・スパニングツリーの諸特性に関する理論的考察」

古山正雄(京都工芸繊維大学)

「エレベータ移動率の確率モデル」

島川陽一(中央大学大学院理工学研究科)

●システムの最適化とOR●

・第4回

日 時：2月20日(金) 14:00~17:00

出席者：13名

場 所：富山商船高等専門学校福利施設「奈呉の浦会館」多目的集会室

テーマと講師：

(1)「船舶操縦シミュレーション・シミュレータにおける未解決の課題等について」

遠藤 真(富山商船高等専門学校)

操船シミュレータ・シミュレーションにおけるモデルと現実の対応問題で、(1) Fidelity, (2) Validation, (3) Interpretation of Resultsの3種類の問題が未解決となっております。この3種問題の概要を解説し、操船シミュレータの歴史等についても紹介した。

(2)「Nonpreemptive Flowshop Scheduling with Machine Dominance」

Ondrej Cepek(Charles University), 岡田政則(金沢学院大学), Milan Vlach(北陸先端科学技術大学院大学)

Flowshop scheduling deals with processing a set of jobs through a set of machines, where all jobs have to pass among machines in the same order. In this talk we concentrate on a special case of flowshop defined by additional machine dominance constraints.

●理財工学●

・第8回

日 時：2月27日(金) 19:00~21:00

出席者：18名

場 所：東京工業大学南4号館6F

テーマと講師：

(1)「摩擦がある市場におけるポートフォリオ最適化」

今野 浩(東京工業大学)

取引コスト考慮したポートフォリオ最適化問題、組替費用最小化問題、効率的フロンティア上の最適化問題の3つのテーマについて論じた。これらの問題に対して分枝限定法に基づいた解法、パラメトリック線形計画問題に基づいた解法の有効性を明らかにした。

(2)“Topics on Risk Measures”

Freddy Delbaen(Dept. of Mathematics, ETH)

Zurich)

リスク指標に関して、それが満たすべき性質を公理的なアプローチから論じ、いくつかの具体的な表現を示した。また、これらのリスク指標によって市場における規制について合理的な評価が行えることを示唆した。

●イノベーション●

・第22回

日 時：3月7日(土) 14:00~17:00

出席者：8名

場 所：中央区新富ワークス・サポートセンター

テーマと講師：「戦国時代の『莊子』と21世紀」

上田亀之助

『莊子』は今から2000年以上も昔にまとめられた文献ですが、その宇宙から社会や人間に対する読みは極めて深く、混沌・自由・無差別・無為自然を基本として、21世紀に起こる困難な問題等に対して、新しい適切な示唆や解決方法を我々に与えてくれると思っています。

●待ち行列●

・第134回

日 時：3月14日(土) 14:00~17:00

出席者：26名

場 所：東京工業大学 本館1-94号室

テーマと講師：

- (1)「時点型個別生産システムの待ち行列解析と最適制御について」 神原一博(電気通信大学)
見積もり価格がある基準以上であれば受注を行うジ

ョブショップで、生産能力と基準価格が待ちジョブ数に応じて2段階の変化をするモデルを、再生点に注目した隠れアプローチを用いて解析した。さらにその結果を用いて、非協力型(受注価格最大、加工費用最小)と協力型(正味利益最大)のふたつの戦略の比較を行った。

(2)「1/fトラヒックと待ち行列の裾確率」

小林和朝(NEC C&Cメディア研究所)

符号化された画像のデータは長時間依存性を持つと言われている。本報告では、数時間における放送画像をMPEG 2で符号化した実データのスペクトル密度を分析し、それが1/fの特性を持つことを示した。さらに、この性質がデータの非定常性を示していること、また、ここで言う非定常性が、例えば、観測時間を長く取るほど標本分散が大きくなるといった性質に対応していることなどが報告された。

●平成10年度会費納入のお願い(事務局)

平成10年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、9年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成10年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

表紙のデザインを公募します

このたび、オペレーションズ・リサーチ学会では、「オペレーションズ・リサーチ」誌の表紙デザインを公募することになりました。現在の表紙は、編集委員会提案によるもので、1994年より毎号特集テーマを表現する図を表紙にのせるという楽しいアイデアを続けてまいりましたが、すでに5年目を迎えました。そこで、このあたりで表紙のデザインを変えて気分を一新したいと思います。ORの未来を切り開くような斬新なイメージの作品を募集します。皆様ふるってご応募ください。

<記>

応募資格：本学会正会員および学生会員、賛助会員の社員

締 切：1998年8月31日

発 表：本誌紙上

賞 金：10万円

大 き さ：B5判

そ の 他：①現在の表紙に記載されている文言を入れられるようにしてください。

②3色刷り(1色はスミ色)で主たる色(2色)を変更できるようにしてください。

③使用にあたっては、技術上の修正をすることがあります。

④著作権は学会に帰属し、応募作品は返却いたしません。(編集委員会)